



ニュージャージー補習授業校だより

元気いっぱい 夢いっぱい

校長 天川 博

2018年4月7日

平成30年度 4月号

事務所電話：201-585-0555

Eメール：njws@jwsnj.org

平成30年度新学期のスタートです

今年の北米東部の春は歴史的な寒波に見舞われ、ここニュージャージーでも2日には10cm以上の積雪となる大雪となりました。そんなニュージャージーにも、温かい日差しの春が確実に近づいており、ハドソン川沿いでは緑の草をついばむグースたちの姿が見受けられるようになってきました。

学部	幼児部		初 等 部						中 等 部			高等部		国 際
	年中	年長	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	—
学 級 数	2	3	4	3	3	3	2	2	2	2	2	1	1	1
男 子	6	23	24	18	27	35	20	18	9	10	9	9	7	2
女 子	14	15	30	23	23	19	13	20	18	19	22	11	7	4
小 計	20	38	54	41	50	54	33	38	27	29	31	20	14	6
合 計 数	58		287						87			34		6

(総合計472名 4月7日現在)

本日(4月7日)より、平成30年度の新学期が始まりました。年間42回(中・高等部は43回)という限られた日数ですが、一日一日を大切に子どもたちの学びを確かなものにしていきたいと思います。

補習授業校での子供たちの学びは、保護者の皆さまの支援で成り立っています。子供たちの成長のために、教職員と一緒に手をつないで頑張りましょう。



平成30年度重点項目!

重点項目は、昨年度の目標を更に徹底し、本校の教育目標と教育理念の実現に向けて今年1年間、全教職員が取り組む目標です。

1つ目の**日本語力の向上**は、補習授業校の本来の目的をしっかりと認識し、子供たちに「日本語を好きになり自信をもってもらおう。」ことが目的です。

2つ目の**教員の指導力向上**は、子供たちの成長を確かなものとするために、教員一人一人が指導力を高めることで、信頼される教員になることが目的です。

保護者の皆さまへのお願い!

お子さまの補習授業校での学びをより効果的にしていただくための4つのお願い。

- 1. 体調を整える**：金曜日は早めに寝かせ、朝食をしっかりと取らせるようお願いいたします。
- 2. 欠席、遅刻、早退の連絡**：担任に必ず連絡をしてください。(授業日は補佐室でも受け付けています。)
- 3. 宿題への対応**：宿題は毎日少しずつ計画的に取り組み、必要に応じて担任と相談してください。
- 4. 当日の連絡**：お子様の病気、ケガ等や緊急時に連絡が取れるようにしておいてください。

平成30年度重点項目実現に向けて

全ては子供たちの笑顔のために

1. 日本語力の向上

日本語と日本文化が好きになる学校

→補習授業校全体を日本語と日本文化の環境とする。

授業はもとより、休み時間も日本語の会話が弾む環境を整える。

2. 教員の指導力向上

①学習指導力、
学級経営力の向上

②研修の充実

→全体研修2回、教員の授業研修(各自1回)、自主研修



平成三十年度 入学式 式辞

本日は、在ニューヨーク総領事館稲本薫領事様をはじめ、ご来賓の皆様、保護者の皆様のを賜り、平成三十年度入学式を挙げて下さる事とまづもって厚く御礼申し上げます。幼児部 10 名、初等部 71 名、中等部 27 名、高等部 20 名の新入生の皆さん、入学おめでとう。

幼児部のさくら組とすみれ組の皆さん。ご入園おめでとう。また、そら組と、にじ組と、ほし組に新しく入園された皆さん。ご入園おめでとう。そして、初等部一年生に入学された皆さん。ご入学おめでとう。

私から、皆さんに一つのお願いをいたします。それは、**挨拶をしっかりとすること**です。「挨拶」の「挨」は心を開く「拶」は相手に近づくという意味があります。元気な声で挨拶をすることによって誰に対しても、心を開いて仲良くすることなのです。つまり、挨拶は、人と人がつながる初めの大切な言葉です。

朝は、「おはようございます」昼は、「こんにちは」「ありがとうございます」「さようなら」夜は「今晚は」などの言葉をしっかりと言えるようになってください。今年も幼児部、初等部の皆さんは、素晴らしい！

次に、中等部と高等部に入学された 47 名の皆さん。入学おめでとうございます。

本日から皆さんが通学する、ニュージャージー補習授業校は、皆さんの「学びの場」です。皆さんには、本校の歴史と伝統を引き継いでほしいと思います。そして充実した中等部、高等部の生活を送ってください。

そのために一つの言葉を贈ります。それは、「**継続は力なり**」の言葉です。

意味は、**何事も休まずに長く続けていれば、自分の力になる。**ということです。

中学部、高等部になると、現地校の勉強や課外活動も忙しくなります。でも、皆さんの先輩たちは本校の勉強もおろそかにすることなく、粘り強く継続しています。皆さんも先輩たちのように粘り強く諦めずに本校での勉強を続けてください。続けることで必ず今よりもっと日本語を話す力や文章を書く力が身に付きます。

44歳でシアトル・マリナーズに復帰したイチロー選手がよく似た言葉を残しています。紹介します。

「今、自分にできること、頑張ればできそうなこと、そういうことを積み重ねていけば、遠くの大きな目標でも必ず近づいて来る。」自分にできることを積み重ねていけば、必ず目標は実現する。ということですね。

「継続は力なり」何事も続けていただきたいと思います。

保護者の皆様へ申し上げます。お子様のご入園、ご入学誠にありがとうございます。

幼児部、初等部、中等部、高等部のいずれのお子様も今、心身ともに伸び盛りで大きく成長していく時期であります。お子様が、それぞれの学部で、本気で勉強し、明るい補習校の生活を送れますように、私たち教職員一同、誠心誠意努めて参ります。

どうぞご理解とご協力をお願いいたします。世界で五番目に難しい日本語での学習は身に付くのに時間がかかります。ご家庭での日本語での会話、絵本などの読み聞かせや宿題の取組などを毎日取り組ませることを通して身に付くように、第2の先生としてご協力をお願いいたします。

本日は、稲本薫領事様をはじめ、ご来賓の皆様、本日はご臨席賜り、誠にありがとうございました。深く感謝申し上げます。

すべての皆様方のご健康とご多幸を祈念して、私の式辞といたします。

平成30年4月7日 ニュージャージー補習授業校 校長 天川 博



平成三十年度 始業式 式辞

全校の皆さん、おはようございます。今日から、いよいよ新年度の始まりです。まずは、それぞれ進級おめでとう。皆さんは今、新しい学年、そして、新しい先生との出会いに心ときめかせ、決意を新たにしていることでしょう。皆さんにとって4月は心機一転再出発のときであり、これまでの学校生活を振り返って、よいところはさらに伸ばす工夫をしたり、軌道修正すべきところは素直な心で改めることが大切です。

さて、新学期を迎えるにあたって、皆さんに、校長先生から一つお話をします。それは『互いに助け合っ
て学んでほしい』ということです。学年が上がるごとに補習校での勉強は難しくなり、理解したり覚えたりするのにかかるようになります。そのような時、誰もが「辛い」とか「辞めたい」という気持ちになるものです。その気持ちを少しでも和らげがんばる気持ちにさせてくれるのは「友達の支えです。」(例：どうしたの? という言葉かけが一番の救い)

それぞれの学級には日本語の得意な人、英語の方が得意な人がいます。本校での学習は、英語の得意な人の方が難しいです。日本語で何て言ったらいいのかすぐに言葉が出てこないとか、文章の意味が分からないということで苦しんだり辛い思いをしているのです。日本語の得意な人は、逆に現地校でこういう思いをしてきている人がいるのではないのでしょうか。補習校は、「学びの場」ですが、『互いに助け合っ
て学ぶ場』にしてください。苦手だと思って勉強している人を得意な人は助けてあげてください。そうすれば、勉強は辛

いけど、同じように辛さを我慢して頑張っている人がいる、補習校では助けてくれる人がいる。だから、自分も頑張れるという学級や学年を皆さん一人一人が創ってください。

先生方は皆優秀な先生たちばかりです。皆さんに熱心に勉強を教えてください。時には、辛さから逃げようとする皆さんの気持ちに厳しくなることもあるかもしれませんが、でも、先生方は心の中では「頑張れ、諦めるな」といつも応援しています。それでは、学級での友達は「自分の兄弟(姉妹)」だと思って、助け合っ
てこれからの勉強に励んでください。皆さんの諦めない気持ちに期待します。

以上で、校長先生の始業式の話とします。

